

令和2年度 区長会 事業報告

	事業名等	実施内容	総括
竜丘地区基本構想の進行管理	各委員会における基本構想実現に向けた取り組み支援及び調整	各委員会における事業報告並びに事業計画作成時に基本構想との整合性を図り、より実現性の高くなるように区長会や役員会で調整を行っている。コロナ禍ではあるが、感染症予防対策を施す中で、各種活動につなげたい。	基本構想を意識して各事業に取り組み、今後も基本構想の実現に向けた事業を展開していく。
	基本構想の先導的事業を推進するグループに対する支援	天竜川鷲流峡復活プロジェクト活動組織及び源氏ヶ滝環境美化プロジェクトに続く基本構想の実現に向けた活動グループの掘り起こしにつなげたい。	基本構想の実現に向けた活動グループの掘り起こしにつなげたい。
桐林クリーンセンターに関する協定の遵守	桐林クリーンセンター操業終了後の地域振興に関する協定への協力	桐林クリーンセンター操業終了後の地域振興に関する協定事項4項目の進捗状況について、担当課の報告により区長会で確認した。 7月29日(水) なお、協定項目のうち、北平念通寺線の道路拡幅工事、上の坊線の舗装工事については、工事完了となった。	市道2-49号線については、整備に向けて進行している。 古墳関連については、古墳群保存活用計画にあわせた検討が進められてきている。
桐林クリーンセンター後利用構想の実現	桐林クリーンセンター後利用等検討委員会	不定期開催(産業系の利活用についてなんらかの動きがあれば開催する) 令和2年度実績なし	後利用の方向性について「環境産業公園という位置づけの中、桐林クリーンセンター周辺を一団の土地として産業系の利活用で進める」と3者(南信州広域連合、飯田市、竜丘地区)で合意している。
自主防災会の強化と生活防災の視点による日頃からの備え	「防災委員」「防災士」との連携強化と幹事会機能の強化並びに防災資機材等の計画的導入	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回幹事会 総会及び地区防災計画について 5月13日(水) ・自主防災会総会 5月21日(木) 役員のみ出席で開催。 規約の変更(総会参加対象を役員及び各区自主防災会の班長に変更) 防災士(3名)の選任 ・第2回幹事会の実施 竜丘地区地震防災訓練実施計画の検討 7月29日(水) ・コロナウィルス感染症まん延のため、普通救命講習会、地区防災リーダー向け講習会並びに情報交換会は中止 ・本部・各区災害対策本部における防災資機材の導入 デジタル簡易無線、簡易トイレ、移動式担架、ヘルメット、毛布、ベスト・腕章等 	各自主防災会が防災委員の組織における位置づけと長期的に携わってもらい体制が整備されてきている。 また、新たに「防災士」の登録者も誕生し、体制の強化につながっている。 引き続き、有事の際に中心となる者の発掘と育成に努めていく。

令和2年度 区長会 事業報告

	事業名等	実施内容	総括
	地震総合・土砂災害 全国統一防災訓練の 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害・全国統一防災訓練の実施 特別警戒リストに基づく伝達訓練 6月7日(日) 対象26世帯 ・正副会長及び防災士打ち合わせ 竜丘自主防災会防災計画検討会議 7月7日(火) ・竜丘地区地震防災訓練本部員事前打ち合わせ 8月20日(水) ・竜丘地区地震総合防災訓練の実施 8月30日(日) 総数4,814人 (合同訓練)感染症まん延に配慮した避難所開設・運営訓練 デジタル簡易無線機を活用した情報伝達訓練 	<p>竜丘地区地震防災訓練日程に基づき防災訓練を実施した。</p> <p>訓練に多くの参加があり、区民の防災意識が高まっていることがうかがえた。</p> <p>各地区で、未加入者に対して訓練参加の呼びかけを行った。防災訓練をきっかけに地域に参加してもらうことは大切であり、今後も継続して取り組んでいく。</p>
	防災意識の醸成	竜丘文化作品展 非常食備蓄のすゝめ 150食提供 11月7日(土)	「自分の身は自分で守る」を意識してもらうため、非常食を提供し、自宅での非常食の備蓄について啓発を行った。
	災害対応	・7月の長梅雨に伴う災害対応 竜丘地区内 48件 うち、対応31件	各区との連絡にデジタル簡易無線を活用しており、情報伝達手段として有効性を確認できている。今後は無線の扱いに慣れるよう、各区のイベントなどでも活用してもらうよう工夫をしていく必要がある。
地域の 地育力を 高める ための 連携と 強化	竜丘小学校・緑ヶ丘 中学校との情報共有 及び連携	<ul style="list-style-type: none"> ・竜丘小学校運営協議会 5月25日(月)、8月18日(火)、2月4日(木) ・竜丘小コミュニティスクール研修会は、コロナウィルス感染症まん延により中止 ・竜丘小学校メンマ販売 10月26日～29日 あいぱん駐車場 11月9日 市役所市民サロン ・緑ヶ丘中学校運営協議会 5月18日(月)、10月5日(月)、2月18日(木) 	<p>コロナ感染症まん延により行事も縮小してきている。</p> <p>竜丘小学校においては、6年生が総合的な学習の時間において、メンマのラベルデザインの制作を行った。また、5日間の日程でメンマの販売活動も行い、予定していた1,000袋を完売した。</p> <p>緑ヶ丘中学校においては、地域の各種事業にスタッフとして参加呼びかけができていない状況にある。</p>

令和2年度 区長会 事業報告

	事業名等	実施内容	総括
地域自治の推進 ・地域力の強化	地域自治を進めるための組織強化	関係機関との連携強化 ・関係機関との交流懇談会 ・東京竜丘会 コロナウイルス感染症感染防止により中止 他地域との交流・親睦 ・松尾、下久堅、竜丘交流懇談会の開催 11月3日 各地区10名以内として実施	近隣地区との交流は、広域的な視点での取り組みの推進や課題解決において必要である。 一方で新型コロナウイルス感染症感染防止対策により実施できない事業もあった。
	組合未加入者の加入促進	各区における組合加入コーディネーター活動の推進（コーディネート活動実績による） 令和2年（1.1～12.31） 駄科区 4/5件 加入 長野原区 4/6件 加入 時又区 4/4件 加入 桐林区 1/4件 加入 上川路区 0/7件 加入 8月を竜丘地区の組合加入月間と定め、区ごと取り組みを行った。	竜丘への転入者情報を市の協力により取得し、各区の組合加入への案内に結びつけている。
	空き家の調査・活用	各区における空き家の実態調査を開始 ・地区内の有効活用できる空き家を調査することにより、結果として安全確認につながっている。 ・持ち主の空き家にさせない取り組みも行う必要がある。	地域内の空き家状況を確認することにより防犯対策や移住者の誘致などに結びつけることができる。